

(添付ファイル 第8号様式)

## 平成30年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	事業進捗状況				事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
					採択年 ) 目標年	総事業費	進捗率	事業進捗内容			
						工事費	進捗率				
						用地費	進捗率				
林道事業	4	木屋村山線	度会郡大紀町・度会郡南伊勢町	<p>【全体事業概要】 延長:9,214m 幅員:4.0m 利用区域面積:339ha 事業費:1,530百万円</p> <p>【事業目的】 戦後に一斉造林されたスギ・ヒノキの人工林と、薪炭林跡地(二次林)の森林を効率よく整備し、森林資源の活用促進を図るとともに、森林の持つ公益的機能の早期発揮を目的とする。 併せて、大紀町の木屋地区と南伊勢町の村山地区を結ぶ連絡道として、災害時の迂回路としての役割が期待されている。</p>	H15	1,226	80.1%	延長:5,497m	<p>戦後に一斉造林されたスギ・ヒノキ等の森林資源は成熟期を迎えつつあり、木材資源としての重要性が増しつつある。また、利用方法も柱や梁といった従来の構造材から、大型合板工場向けの木材やバイオマス燃料材としてなど、多種多様な使われ方が行われるようになってきている。</p> <p>林業作業についてはプロセッサやグラップル、フォワーダーなどの高性能機械が普及しつつあり、機械作業による造材や集材の効率化が進んでいる。</p>	<p>【費用対便益分析結果】 B / C = 1.40</p> <p>【コスト削減】 地形にあった波形線形の採用や、路肩の縮減により、土工量及び法面保護工を削減しコスト削減を図る。</p> <p>【代替案の検討】 当路線の利用区域内の森林整備を図るとともに、切り出した木材を効率よく運搬する必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はない。</p>	一層のコスト削減を行い、関係する市町や地元関係者との連携を図り、計画的な予算配備に努めながら早期完成を目指し、事業を継続する。
						1,226	80.1%				
					H35	-	-				

(添付ファイル 第8号様式)

## 平成30年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	事業進捗状況				事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し
					採択年 目標年	総事業費	進捗率	事業進捗内容			
						工事費	進捗率				
						用地費	進捗率				
林道事業	5	野又越線	多気郡大台町・北牟婁郡紀北町	<p>【全体事業概要】 延長:15,621m 幅員:5.0m 利用区域面積:1,378ha 事業費:6,560百万円</p> <p>【事業目的】 紀北町、大台町両町の基幹的な林道として地域の森林整備を促進する。 併せて、古くから文化的な交流があった両地区を連絡する生活道として、海と山の資源を活かした交流を通じた地域活動を促進し、両地域の振興を図ることを目的とする。</p>	H3	4,023	61.3%	延長:13,547m	<p>大台町では、平成29年度に第2次大台町総合計画前期基本計画を樹立し、「木材生産基盤の整備」、「木材流通体制の整備」等を施策とし、林業振興に取り組んでいる。</p> <p>紀北町では、平成29年3月に紀北町第2次総合計画前期基本計画を樹立し、「森林整備の推進」、「地元材の新たな利活用の促進」等を施策とし、林業の振興に取り組んでいる。</p>	<p>【費用対便益分析結果】 B / C = 1.16</p> <p>【コスト削減】 地形にあった波形線形の採用や、路肩の縮減、またコンクリート擁壁に替えて補強土壁工を積極的に活用し、土工量及び法面保護工を削減しコスト削減を図る。</p> <p>【代替案の検討】 当路線の利用区域内の森林整備を図り、両町を連絡する必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はない。</p>	一層のコスト削減を行い、関係する市町や地元関係者との連携を図り、計画的な予算配備に努めながら早期完成を目指し、事業を継続する。
					H44	-	-				

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業